

(千円)

No	事業種別	分野	事業名	事業の概要	事業費 (実績額)		事業の実施状況 (主な実績等)	自己評価 (事業の効果等)
					交付金 充当額	事業費 (実績額)		
1	地域づくり連携推進事業	防災	火災予防対策強化事業費	<p>【事業の目的】 火災を未然に防止し、市民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、火災等の災害による被害を軽減するために火災予防に関する各種事業により地域防災(火災予防)の推進を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・市内事業者等に対し防火管理体制の充実を図るため、防火管理講習を実施 ・火災において初期消火に協力した市民に対し消火器の詰替又は給付等補助事業を実施</p>	202	100	<ul style="list-style-type: none"> 防火管理講習(法定講習) 3回/年 市内事業者83名 初期消火に協力した市民に対する消火器の補助事業 対象火災2件 給付：消火器3本 火災予防運動やイベントなどで配布する火災予防普及啓発品の購入 火災予防運動用横型看板の作成 	消火器の補助事業は、令和元年度から事業開始し、徐々に浸透し始めている。事業開始からこれまで11件の火災に対して消火器の給付等を行った。初期消火により被害が軽減された奏功事例もあり、また、今後は、補助事業完了までの間、貸し出す代用消火器を充実させる予定である。当該事業をさらに広めることで地域防災力の向上につながっていくものとする。
2	地域づくり連携推進事業	防災	自主防災組織づくり推進経費	<p>【事業の目的】 地域の防災意識を向上させることで、災害の被害軽減に寄与する。</p> <p>【事業の内容】 防災士養成講座の開催、地域への出前講座の実施。これらの活動を通じて、地域住民の防災に対する理解と意識を高め、自主防災組織の普及を図る。</p>	608	200	<p>防災士養成講座は31名が受講し、28名が防災士資格を取得。 地域への出前講座を48回、約1,300人に実施。</p>	地域防災のリーダーとなる防災士が地域に増えることにより、地域防災力の向上を図ることができた。 また、地域への出前講座を多数実施し、防災の理解と意識を深めるきっかけを提供する事により、住民の防災意識の向上に繋がり、地域の自主防災組織の普及に寄与したと評価をしている。
3	地域づくり連携推進事業	防災	由良川流域内水対策事業費	<p>【事業の目的】 由良川流域における浸水被害の軽減を図ることを目的として、必要な対策を位置付けた「由良川水系流域治水プロジェクト」に基づき、特に内水被害の大きい志高地区において、国や府と連携し内水対策を推進を図る。</p> <p>【事業の内容】 具体的な浸水対策を抽出し、どの対策の組合せが効果的であるか、建設費や維持管理経費等も含めた検討を実施。</p>	8,115	4,000	<ul style="list-style-type: none"> 資料収集及び志高地区における現地踏査、現地測量の実施。 内水特性の把握及び許容湛水位の設定。 内水対策案の検討及び概算事業費の算定。 	当該地区を詳細に調査することで、地区の現状や内水特性が把握でき、様々な内水対策の実現の可否について検討することができた。
4	地域づくり連携推進事業	環境	交通安全灯設置補助金	<p>【事業の目的】 舞鶴市内の自治会が、夜間における通行の安全確保や犯罪の防止を目的とする。</p> <p>【事業の内容】 公共の用に供する道路を照明する交通安全灯を新設・更新(消費電力の少ないLEDに限る)または撤去する場合に、自治会の負担軽減を図るため、その費用に対し、補助金を交付する。</p>	594	200	<p>【補助内容】 LED更新71基、新設8基</p> <p>【補助自治会】 引土、西敷島、七日市、中の脇、市場東、市場西、杉山、浜、三浜、白屋、竜宮、幸野町、登尾、上福井、森宮、西門二丁目、田中西町、城東、桜木町、南田辺、吉坂、溝尻中町、京田新町、京橋、寿</p>	自治会の交通安全灯をLED化することにより、市民個人だけでなく自治会一丸となって省エネに取り組む地域性を形成させ、住民の環境意識を高めることができた。また電力消費を抑え、電気代を節約することで、自治会活動の一助を担う。
5	地域づくり連携推進事業	環境	まいづる環境市民会議事業費補助金	<p>【事業の目的】 将来を担う子どもたちを含め、多世代に様々な環境問題について考えてもらう機会を創出し、広く普及活動に取り組む。</p> <p>【事業の内容】 政府から、2050年までに脱炭素社会を目指す旨と発表されたことにより、地球温暖化問題や再生可能エネルギーの活用について、メディア等で取り上げられる機会が増えている。加えて、SDGsの取り組みが広く普及し始め、海洋プラスチックごみの問題やごみの減量、リサイクル等にも注目が集まりつつある。また、生物多様性への意識はますます希薄になっている。このような現状をふまえ、本市においても、将来を担う子どもたちを含め、多世代に様々な環境問題について考えてもらう機会を創出し、広く普及活動に取り組むため、市民団体への補助を行う。</p>	888	400	<ul style="list-style-type: none"> 舞鶴市内の小中学校、その他教育機関にて環境学習を41回実施 地球環境に関する普及啓発を目的としたイベント「環境フェスタ2023」を実施し、約1,600名来場 神崎海水浴場にて「まいづるクリーンキャンペーン」と題した海岸清掃を実施し、約150名が参加、同日に清掃活動や作品づくりを通して、海洋ごみ問題や環境について考えてもらうイベント「ビーチコーミングin神崎浜」を実施 池内川上流にて約30名の未就学児、小学生とその保護者を対象に水生生物観察会を実施 	小中学校等への環境学習や環境イベントの実施を通して、子どもたち、ひいては親や祖父母等まで広い世代へ環境啓発を行うことができた。 環境学習においては、座学だけでなく、体験型の学びを取り入れた環境学習の実施にあたり、京都府地球温暖化防止活動推進センター等から提供されている環境学習用ツール(発電やエネルギーを生み出す仕組みを知る実験キットや地球温暖化が要因となって起こり得る危機を体感できるVRゴーグル)を活用するなど、子どもたちの興味を掻き立て、理解を深める授業づくりに取り組んだ。 また、環境フェスタにおいては、「地域防災力の向上を目指した地域社会連携に関する協定」に基づく外部給電車両の借り上げを行い、エネルギーに関する取り組みを市民に広く周知することができた。
6	地域づくり連携推進事業	文化振興	子どもの豊かな育みを支える環境づくり事業費補助金	<p>【事業の目的】 対象となる事業(文化振興事業等)の一部費用を補助し、子どもの豊かな育みを支え、障害や不登校など様々な課題を抱える子どもの社会参加その他の子どもに関する社会的課題の解決に寄与する。</p> <p>【事業の内容】 補助上限：200万円、補助率4分の3 対象事業：①子どもが参加する事業。②舞鶴市内を活動拠点として実施される事業。③年間を通して継続的に行われる事業。④営利を目的としない事業。</p>	2,474	1,200	<ul style="list-style-type: none"> 補助金の交付 2件 舞鶴こどもコーラス 2,000,000円 子どもの身体を動かす場づくり事業 474,000円 	補助金の交付により、さまざまな課題を抱える子ども達の居場所となる、学年や学校を超えて仲間と繋がる活動に寄与することができた。
7	地域づくり連携推進事業	文化振興	文化芸術まちづくり事業	<p>【事業の目的】 地域文化の創造と文化の新たな担い手となる人材の育成を目指し、舞鶴市総合文化会館をはじめ市内各施設等において、幅広い舞台芸術や質の高い文化芸術の提供など芸術・文化鑑賞事業や、体験事業、アウトリーチなどを実施する。</p> <p>【事業の内容】 ・アートスタート事業 ・アート・プログラム・デリバリー ・文化の見本市 ・市の収蔵品を活かしたアート展 ・総合文化会館公演事業等</p>	29,360	8,200	<ul style="list-style-type: none"> アートスタート：8回(参加者201人) アート・プログラム・デリバリー：68回(参加者：2,578人) 文化の見本市：1回(参加者：250人) 市の収蔵品を活かしたアート展：2回 総合文化会館公演事業：6公演(来場者：4,983人) 	乳幼児から大人まで幅広い年代の方を対象に、様々な文化芸術の提供、体験事業、アウトリーチを行い、文化の魅力の気づき・発見の場とすることができた。また市制施行80周年記念事業として、NHK交響楽団舞鶴特別演奏会やまいづる市民第九演奏会を実施することにより、市民が質の高い文化芸術に触れ、親しむ機会を創出し、市民のまちへの愛着や誇りを一層深めることができた。
8	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	舞鶴市・高浜町連携鉄道誘客・公共交通利用促進事業	<p>【事業の目的】 令和6年春の北陸新幹線金沢・敦賀間の開業等により人流の増加が期待される令和6年度をターゲットイヤーとして、敦賀から福井県嶺南地域、そして京都府北部地域へと人流を導くため、舞鶴市公共交通ネットワーク会議が実施する人流を導くコンテンツの形成や公共交通の利用促進事業に対して支援を実施し、広域交通ネットワークの活性化及び観光ブランディングの推進を目指す。</p> <p>【事業の内容】 (1) 鉄道誘客促進事業 令和6年秋に運行が開始されるJR新たな観光列車「はなあかり」のプレ運行列車(団体臨時列車)のおもてなし事業を実施。 (2) 公共交通利用促進事業 京都交通バス高浜線をはじめとした路線バスの乗車機会の拡大につなげるモビリティ・マネジメント事業を実施。</p>	313	100	<p>(1) 鉄道誘客促進事業 【運行日】令和5年10～11月の土日の内、計8日間 【乗車人数累計】519人 【実施事業】 ・運行記念ノベルティグッズ(缶バッジ)の配布 ・ゆるキャラによるお出迎え ・舞鶴土産セットの販売 ・列車内での観光パンフレットの配布 ・手旗、横断幕によるお見送り ・楽器演奏等のお出迎えイベントの開催</p> <p>(2) 公共交通利用促進事業 ①「キッズバス乗車体験」(路線バスの乗車体験及びバスにちなんだ工作教室)の実施 【開催数】2回 【参加者数】合計64人(児童39人、保護者25人) ②「移動美術館バス」(京都交通バス高浜線を運行するバス車内に沿線幼稚園・保育所の園児の絵画作品を展示)の実施 【運行期間】令和6年1月13日～2月4日 ③沿線事業者や学校に対して、路線バスをはじめとした公共交通利用の呼び掛けを実施</p>	成果指標「JR、京都丹後鉄道観光列車誘客イベント等の実施」に対して、令和5年10～11月のはなあかりプレ運行列車のおもてなし事業を実施し、また成果指標「沿線事業者等への呼び掛け、お話し乗車会等の行動変容事業の実施」に対しては、キッズバス乗車体験や移動美術館バスといった事業を実施しており、本市をはじめとした京都府北部地域への人流拡大に向けたコンテンツの形成に取り組むことができたほか、公共交通利用に対する意識を醸成することができた。

9	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	舞鶴市・高浜町青葉山エリアブランディング事業費	<p>【事業の目的】 京都府北部地域と福井県嶺南地域は、北陸新幹線金沢・敦賀間開業により広域からの人流拡大が期待される地域であり、この機会を最大限に生かすため、隣接する高浜町と交通・観光分野における連携した取組を実施し、広域交通ネットワークの活性化及び観光ブランディングの推進を図る。</p> <p>【事業の内容】 ・吉坂堡壘砲台見学会の開催 ・地域資源マップの作成 ・連携イベントの開催 等</p>	789	300	<p>・「舞鶴市・高浜町連携プロジェクトアクションプラン（2023～2025）」の策定 ・公式ホームページの作成 ・連携イベント「スマホで巡る青葉山麓デジタルスタンプラリー」の開催（参加者数215人） ・公募によるロゴマーク決定（応募作品110点・有効投票数1,072票）ほか</p>	隣接する高浜町と連携した観光コンテンツの磨き上げに取り組み、初年度としてアクションプランの策定、公式ホームページの作成やロゴマークの決定等、両市町にまたがる「青葉山エリアブランディング」の基礎構築が図られた。
10	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	みなとオアシス活用事業費	<p>【事業の目的】 令和4年度のみなとオアシス登録を契機として地域住民の交流や観光振興通じた地域の活性化を目指すなか、みなとオアシス登録施設においてイベントを実施し、賑わいをもたらすことで、周辺地域住民が「みなと」を憩いの場として身近に感じ、「みなと」を特色とした西のまちづくりへの関心・期待に繋げ、住民参加による取り組みを生み出す契機とする。</p> <p>【事業の内容】 ・みなとオアシスイベントの実施 ・府内登録港との横連携</p>	1,136	400	<p>・みなとオアシスイベントの実施 1回 ・他港イベントへの出展・PR活動 1回</p>	第八管区海上保安本部主催の「ブルーフェスタ2023」との同時開催でイベントを実施した。当日は約2,000人の方にご来場いただき、「みなと」での賑わいづくりに寄与した。また、まちなかエリアへの周遊を促すため、みなとと商店街間の両エリアを繋ぐスタンプラリーを実施した。スタンプラリー参加者の約6割が商店街のポイントに立ち寄る結果となり、まちなかエリアにも賑わいをもたらした。さらにその翌日には、本事業の2DAYSイベントとして舞鶴商工会議所青年部主催の「YEGフェスタ」が同会場で開催され、約1,200人が来場した。みなとオアシス登録施設において、住民参加による取り組みを生み出す契機としても効果があった。加えて、府内の登録港（4港）同士の横連携が定着しつつあり、互いのイベントに協力し合う体制づくりにつながっている。
11	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	城下町エリアみなとオアシス推進事業費	<p>【事業の目的】 舞鶴の「タカラモノ」となる豊富な地域資源を、点から面へとつなげることでエリアの魅力を高め、来訪者が増えることで市民がエリアの価値に気づき、さらなる地域活性化や誇りと愛着の醸成を図る。R5年度は「みなとオアシス」と「まちなかエリア」にある歴史や文化を活かした城下町エリアみなとオアシスを推進する。</p> <p>【事業の内容】 ・田辺龍城戦国まつりの開催 ・京都舞鶴港ベイサイドフェスタの開催</p>	3,555	1,700	<p>・田辺龍城戦国まつり（「チャンバラ合戦 in もうひとつの関ヶ原 舞鶴」）の開催 入込客数3,000人 ・京都舞鶴港ベイサイドフェスタの一環として舞鶴西港において、遊覧船を特別運航（運航数 4便・乗船客数 163人）</p>	城下町の歴史・文化を活かしたイベントの開催や京都舞鶴港における遊覧船運航による観光誘客とエリア周遊に取り組んだ。入込客数はイベントの競合や悪天候もあり、目標人数には達しなかったが、一定地域経済の活性化と城下町「まちなかエリア」の歴史・文化の発信に寄与した。
12	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	夏期巡回ラジオ体操開催経費	<p>【事業の目的】 多くの方が実施することができるラジオ体操を実施することにより参加者の運動機会の増進、参加者間のコミュニティの活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】 毎年、全国で開催されている「夏期巡回ラジオ体操・みんなの体操会」について、市制施行80周年記念事業として、多くの市民の交流・運動機会の増進を目的として開催する。</p>	406	200	当日の参加者数：450人	事業当日には450人に参加いただき、認知度の高いラジオ体操を行うことで、市民の運動機会の増進、参加者間のコミュニティの活性化に繋がった。
13	地域づくり連携推進事業	地域・産業創造	京都サンガF.C. ホームタウン応援経費	<p>【事業の目的】 サッカーJ1所属チームである京都サンガF.C.の舞鶴市ホームタウンデーにおいて、市内の子ども達をホームゲームに招待するなど、市民がプロスポーツに触れ、「見るスポーツ」を楽しむことができる機会を創出する。</p> <p>【事業の内容】 サッカーJ1所属チームである京都サンガF.C.のホームタウンとして、サンガスタジアムにおけるホームゲームの開催に合わせて、市民対象とした応援バスの企画・運行を行う。</p>	344	100	応援バスの参加者数：40人	企画・運行した応援バスには定員40人に対して、申し込み開始の翌日には定員に達するなど、興味はあるがなかなか触れる機会を得られなかった市民のプロスポーツに触れる機会を創出することができた。
14	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	休日救急輪番制事業費	<p>【事業の目的】 休日における市民の救急・急病医療体制を確保するもの。</p> <p>【事業の内容】 休日における救急医療体制を輪番で確保する公的3病院（舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院）に対して支援を行う。また、小児科の入院が必要な二次救急について、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院のバックアップ体制を取る舞鶴医療センターに対して支援を行う。</p>	28,160	13,581	<p>診療科：内科・外科・小児科 時間：休日の午前8時30分から 翌日の午前8時30分 実施日数：73日（年末年始含む） 患者数：4,680人（一日平均 64.1人）</p>	休日の救急輪番制の実施により、市民が安全・安心に暮らすことができる救急医療体制の確保を図ることができた。
15	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	「地域医療の充実」共同研究事業費	<p>【事業の目的】 人口減少、少子高齢化といった共通の社会的課題を有する府北部地域において、医師の不足や診療科の偏在といった医療課題について、京都府立医科大学と舞鶴市が共同で研究に取り組み、地域医療の充実につなげる。</p> <p>【事業の内容】 府北部の周産期医療のさらなる充実を目指して、周産期医療の実態について統計と解析を行う。</p>	13,000	6,500	研究テーマ：「府北部地域における周産期医療の充実に向けて」	舞鶴医療センターの常勤医師が拡充され、患者数も上昇傾向となり、常勤医師を中心とした医療支援体制の確保を図ることができた。
16	地域づくり連携推進事業	健康・医療・福祉	公的病院救急医療体制確保事業費補助金	<p>【事業の目的】 地域医療を維持し守るため、基本的には公立病院が担わなければならない救急医療事業を行う公的病院に対し一定の支援を行うことにより、市民の安心・安全に繋げる。</p> <p>【事業の内容】 救急医療事業のうち、事業収益で補えない経費の一部に対し助成する。</p>	15,000	7,500	平日夜間、土曜日及び輪番日以外の休日における救急医療体制の確保	1年を通して、平日夜間、土曜日及び輪番日以外の休日における救急医療体制を確保することができた。
17	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	防火施設整備費補助金	<p>【事業の目的】 近年、何度も被災するといった本市の状況から、多様な災害・危機事象から市民の生命と財産を守り、市民が安全・安心に暮らすことができる環境整備を図るため、防災関係機関等と連携し、ソフト・ハードの両面から、防災体制の充実・強化に努める。地域の自主的な取り組みへの支援等による市民の意識を高める取組を通じて、自助、共助、公助による防災・減災に繋げるものである。</p> <p>【事業の内容】 地域の防災力の向上及び初期消火体の構築を図るため、「消防及び水防施設に対する補助金交付要綱」に基づき、各地域の防火施設整備に係る費用に対し2/3の補助金を交付するもの。</p>	2,641	1,300	<p>桑飼上地区 消防車庫移築工事 1,000,000円 岸谷地区 小型動力ポンプ格納庫改修整備 598,000円 田中東地区 小型動力ポンプ格納庫シャッター改修工事 227,000円 成生地区 消火栓器具格納庫更新整備 446,000円 上東地区 消火栓器具格納庫更新整備 333,000円 志高地区 消火栓器具格納庫更新整備 37,000円</p>	府の「災害からの安全な京都づくり条例」では、府、府民や事業者が連携、協働して、①府が災害危険情報を整備・公表し、府民等との情報共有を図ることにより、オール京都で防災対策に取り組む基盤を構築すること、②防災上の機能を強化する、災害に強いまちづくりを徹底的に推進すること、③府民等が自ら安全確保行動をとることができるよう、地域防災力の向上を図ることを柱としている。本市の取組も、これらの観点から、近年多発する災害等の危機事象も含め、市民が安全で安心に生活できるように対策を講じるものである。
18	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	総合防災訓練実施事業	<p>【事業の目的】 地震や津波等の発生を想定した避難訓練を通じて、地域防災力の向上と防災意識の高揚を図り、防災関係機関の連携を強化することで、災害の被害軽減に寄与する。</p> <p>【事業の内容】 住民参加と市内各防災関係機関が一体となった実践的な総合防災訓練の実施。訓練を通じて、地域防災力を向上させ、防災意識を高め、各防災関係機関の連携をより強化する。</p>	2,424	1,200	10月29日に24機関・団体、約850人が総合防災訓練に参加。広域防災活動拠点展開訓練をはじめ、被害状況調査訓練、道路啓開訓練、土砂埋没救助訓練、洋上捜索訓練、水防訓練、消火訓練、空中消火訓練、映像伝達訓練、救援物資輸送訓練、避難所開設・運営訓練、避難住民の健康調査訓練、野外炊事訓練、給水支援訓練を実施。	多くの機関、参加者による訓練を実施したことにより、防災意識の高揚と住民や防災関係機関間の連携強化を図ることができた。また、具体的な訓練を通じて、実際の災害時の対応力が向上し、災害による被害を軽減する可能性が高まったとともに、多様な訓練を実施したことにより、広範な災害への対策力の向上を図ることができた。

19	地域づくり連携推進事業	災害・犯罪からの安全	浸水対策事業費（うち排水ポンプ委託分）	<p>【事業の目的】 高潮・豪雨等による水被害が多発する由良川流域をはじめとした市内各所において市民の安全安心を守るため、国・京都府と連携を図りながら、浸水対策を推進する。</p> <p>【事業の内容】 排水ポンプ車を配備し、緊急時に対応できるよう排水作業等に係る委託を行う。あわせて委託業務として、ポンプ操作訓練を実施する。</p>	597	200	<p>日常点検：10か月 排水ポンプ操作：2時間 配備場所：八幡通線 他</p>	<p>近年、何度も被災するといった本市の状況から、多様な災害・危機事象から市民の生命と財産を守り、市民が安全、安心に暮らすことができる環境整備を図るため、防災関係機関等と連携し、ソフト・ハードの両面から、防災体制の充実・強化に努めた。一方で、自治会等の自主的な取組への支援等により、市民の意識を高め、自助、公助、共助による防災・減災に繋げることができた。</p>
20	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	公立保育所施設整備基本計画策定経費	<p>【事業の目的】 公立保育所の老朽化が進む中で、現在地での建て替えが難しいことから、新築移転するほか、公立施設として果たすべき役割や機能の充実・強化を図り、本市における子育て環境の向上につなげる。</p> <p>【事業の内容】 多角的な観点から最適な子育て環境を提供できる施設となるよう、新園舎の建設に向けた基本設計を策定する。</p>	4,950	2,400	新園舎の建設に向けた基本設計 完成	<p>多様化する子育てニーズに対応するため、認定こども園への移行に対応した施設として整備することや医療的ケア児を受入れるための設備を整備することを明記できた。また、乳幼児教育センターを移設し、質の高い乳幼児教育の実践と研究を重ねるとともに、隣接する中総会館内にある子育て支援関係機関と密接に連携するといったことも基本計画に明記することができた。</p>
21	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	障害児通園事業費補助金	<p>【事業の目的】 児童発達支援施設において、成長や発達に丁寧な支援が必要な子どもに対し一人一人の状況に応じ利用者により寄り添った療育を実施する。</p> <p>【事業の内容】 児童発達支援事業や相談支援事業、保育所等訪問支援事業等を行う児童発達支援施設の運営主体に対し、事業の円滑な実施のため経費の一部を補助。</p>	23,933	11,900	<p>利用実績 児童発達支援事業：764人/年（延べ利用回数：2,033回） 保育所等訪問支援事業：7人/年 相談支援事業：197人/年</p>	<p>親子療育や就学に向け保護者の学校見学などの取組の実施、また併行通園先等と連携することで療育の質の向上を図ることが出来た。また専門知識を持つ職員により、利用児童に最適な障害サービスの照会や関係機関との連携により、利用者の負担軽減を図ることが出来た。</p>
22	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	保育所等発達支援事業費補助金	<p>【事業の目的】 保育園、認定こども園に入所している児童の発達に応じた保育を提供し、その健全な発達を支援する。</p> <p>【事業の内容】 児童の発達支援を目的として、発達支援保育士を配置（加配）している施設に対して、その保育士の人件費にかかる経費を補助金として交付する。</p>	37,362	18,600	・補助金交付施設 6施設	<p>発達支援が必要な子どもが増える中で、この補助金を活用することにより、発達支援を行うための保育士の雇用が進んでおり、手厚い支援体制の向上を図ることができた。</p>
23	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	特別活動費等補助金	<p>【事業の目的】 陸上競技大会等への参加支援や市合同音楽会の開催など、通常学校で行う授業だけでは経験できない体験をすることができるよう各学校に支援を行う。</p> <p>【事業の内容】 小学校：陸上競技大会、駅伝競走大会、合同音楽会に対する補助 中学校：総合体育大会、新人体育大会、文化祭典に対する補助</p>	2,851	1,300	<p>下記に係る対象経費を補助 〈小学校〉 舞鶴市小学生陸上大会（令和5年7月2日開催） 舞鶴市小学生駅伝競走大会（令和5年11月11日開催） 舞鶴市小学校合同音楽会（令和5年11月9日開催） 〈中学校〉 舞鶴市中学校総合体育大会（令和5年6月3日開催） 舞鶴市中学校新人体育大会（令和5年9月23～24日開催） 舞鶴市中学校文化祭典（令和5年10月21日開催）</p>	<p>成果指標「全国体力・運動能力・運動習慣等調査における体力合計点 中学校（2年女子）49点」に対し、令和5年度の調査結果が54点となるなど、特別な活動を行うことにより、運動能力の向上や児童生徒一人ひとりの能力や個性を伸ばす教育の推進につながった。</p>
24	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	夢チャレンジサポート事業費	<p>【事業の目的】 子どもたちの夢を育み、その夢の実現を支え、将来社会に貢献できる人材を育成するために、語学能力の向上（英語検定へのチャレンジ支援）や地域の大人の話や聞き、次代の京都を支える人材を育成する夢講演会などを行い、一人ひとりの能力や個性を伸ばし、新たな時代を豊かに生きる力の育成に向けた教育を推進するための支援を各中学校に対して行う。</p> <p>【事業の内容】 (1) 学年毎に市内統一の学力診断テストを実施 (2) 英語検定を受験する生徒への検定料支援 (3) 各学校への事業費補助（進路対策、学力の充実・向上、キャリア教育、地域との協働事業等） (4) 外部講師による講演会を実施</p>	7,929	3,900	<p>(1) 学力チャレンジ…学年毎に市内統一の学力診断テストを実施 3年：令和5年8月30日実施 1・2年：令和6年2月10日実施 (2) 英検チャレンジ…英語検定を受験する生徒への検定料支援 受験者：延べ339人 合格者：延べ218人 (3) 夢サポート事業費補助金…各学校への事業費補助（進路対策、学力の充実・向上、キャリア教育、地域との協働事業等） 中学校7校に計3,500千円補助 (4) 夢講演会…外部講師による講演会を実施 中学校 5校実施（5講演）</p>	<p>成果指標「授業がよくわかる」と回答した生徒の割合中学校（3年生）82%」に対し、令和5年度の調査結果が77.6%と目標値の達成には至らなかったが、各事業の取組により、学力の定着や豊かな人間性・社会性の育成を図るための支援ができた。</p>
25	地域づくり連携推進事業	子育て環境日本一	通学援助事業費	<p>【事業の目的】 学校の統廃合が進み、遠隔地から小中学校へ通学する児童生徒に対し、学校の時間割の関係や部活動、課外行事の関係で、路線バス等の公共交通機関で帰宅が困難な場合に臨時バスやタクシーの手配を行う。</p> <p>【事業の内容】 対象校（小学校5校、中学校4校）の遠隔地からの通学者に対し、公共交通機関で帰宅が困難な場合に手配したタクシー等の使用料</p>	4,662	2,200	<p>臨時バス・タクシー使用実績 小学校 臨時バス（1校 18回） タクシー（5校 658回） 中学校 タクシー（3校 706回）</p>	<p>成果指標「授業がよくわかる」と回答した児童の割合小学校（6年生）85%」に対し、令和5年度の調査結果が86.6%となるなど、地域の教育環境への課題解決に資する取組により、学力の定着・教育環境の向上を図ることができた。</p>
26	地域づくり連携推進事業	生涯現役・共生	社会福祉協議会事業費補助金	<p>【事業の目的】 地域福祉の推進に繋がるボランティア活動の充実や促進を図る。</p> <p>【事業の内容】 舞鶴市社会福祉協議会がボランティア活動の調整役となるボランティアコーディネーターを設置し事業実施することについて、補助金を交付する。</p>	1,764	800	舞鶴市ボランティアセンターのボランティア登録者数（令和5年度末現在） 個人8人、団体57団体（1,992人） ボランティア保険加入者数466人	<p>ボランティアコーディネーターを設置することで、ボランティア活動のマッチングや普及促進活動が活性化し、ボランティア活動をしてみようという人材の拡大、地域福祉の推進を行った。</p>
27	地域づくり連携推進事業	京都産業	舞鶴ブランドプロモーション事業費	<p>【事業の目的】 「赤れんが」「海・港」をシンボルイメージとした舞鶴ブランドによる誘客推進を図り、国内外から広域集客及び外国人観光客も含めた交流人口の増大、観光消費の拡大、観光産業による地域経済の活性化を目指す。</p> <p>【事業の内容】 全国に向けて舞鶴ブランドの知名度アップ、魅力発信をおこなうことを目的に、誘客キャンペーン等のプロモーション活動を実施する。</p>	5,838	2,900	<p>・地域ブランドプロモーション事業 長岡京ガラシャ祭2023・北陸新幹線教員開業イベントブース出展など ・インバウンド誘客事業委託 海外向け商談会への参加、海外向けメディアにおける情報発信 ・地域消費拡大事業 雑誌等の海軍グルメ特集記事を活用した舞鶴PR業務など</p>	<p>「赤れんが」「海・港」といった舞鶴観光ブランド戦略に基づく観光誘客促進を図るとともに、これまでのプロモーションに加え、コロナ5類移行後、再開しつつあるインバウンドに向けた商談会や北陸新幹線開業に合わせたイベント出展等、新たな取り組みによる交流人口拡大に努めた。</p>
28	地域づくり連携推進事業	京都産業	企業立地経営円滑化補助金	<p>【事業の目的】 製造業など事業活動に大量の水道水を使用する企業に対し、水道料金を支援することで、舞鶴市における企業の立地を促進するとともに、市内で操業する企業の円滑な事業運営の支援を行う。</p> <p>【事業の内容】 1か月の使用水量が20,000㎡を超える大口需給者として個別需給給水契約を締結している企業に対し、水道料金の一部を補助。</p>	20,258	10,100	<p>上期（3～8月）、下期（9～2月）の年2回、4事業者に対し水道使用実績に応じて補助金を交付</p>	<p>大量の水道水を使用する企業に対し年2回にわたり補助金を交付することで、円滑な事業運営の支援を行うことができた。</p>
29	地域づくり連携推進事業	京都産業	まちなかイノベーション推進事業費補助金	<p>【事業の目的】 商店街をフィールドとした市内の意欲ある市民団体（商店街、NPO法人や民間企業等）に活躍する場を提供し、商店街とともにまちなかにぎわい創出やまちづくりに関わる体制作りを促進するとともに、商店街をはじめ、まちなかへの新たな集客性、回遊性を高め、また地域と繋がることで、地域全体に賑わいを創出する取り組みを促進するもの。</p> <p>【事業の内容】 商店街等の団体が賑わいを創出するためのイベント等の取組を支援する。</p>	2,600	1,300	<p>東西商店街での夏の風物詩である夜の市の実施や、東舞鶴の浜地域のウェブ版グルメガイドブック作成等、全7件のイベント等への支援を図ることができた。</p>	<p>市街地への回遊性、集客性を高め、商店街、市街地に新たな賑わいを創出することができた。</p>

30	地域づくり連携推進事業	交流と連携	市民との対話集会開催事業費	<p>【事業の目的】 開かれた市政の推進を図り、透明性ある市政情報の発信を行うため、市民との対話集会等を開催し、市民の意見を市政に反映できる市役所づくりを実施する。</p> <p>【事業の内容】 「次世代の思いを紡ぐ対話」「事業テーマに沿った対話」を行い、市民の意見を市政に反映できる市役所づくりを実施する。</p>	355	100	<p>次世代への思いを紡ぐ対話集会： 社会人編 高校生世代編 テーマ別の対話集会： 赤れんがの保存・活用 地域の歴史 デジタル化の推進 身近な生活環境 こども・子育て 多様な性について考える</p>	<p>市民と直接対話することで、地域課題を正確に認識することができ、施策へ展開することができた。 また、市長が直接市民と対話することで、市民のまちづくりへの意識の醸成することができた。 発言者：71名 傍聴者：125名</p>
31	地域づくり連携推進事業	交流と連携	地域資源を活かした多世代交流促進事業費	<p>【事業の目的】 時代とともに生活様式も多種多様化していく中で、官民連携のもと多様な交流促進事業を行うことで地域の活性化を図る。</p> <p>【事業の内容】 若者等交流拠点及び多世代交流拠点施設「まなびあむ」を核とし、多様な交流促進を図るため、当該施設を活用した交流促進事業を行う。</p>	1,500	700	<p>・「親子モノづくり体験イベント」市内の観光施設から収集した落ち葉などを使ったボードゲームを製作する。 ・「まちめぐりイベント」レトロな風景をテーマに、市内を散策し写真撮影、コンテスト（意見交換会）を実施する。 ・「空き家活用イベント」空き家のリノベーション体験を行う。</p>	<p>事後アンケートにおいて、いずれのイベントも満足度が80%を超えており、満足度の高いイベント実施ができた。また、年代の異なる人、市外からの参加者、趣味を通じた新たな交流、市内事業者との連携など、新たな交流の活性化を図ることができた。</p>
32	地域づくり連携推進事業	交流と連携	多世代交流による地域づくり推進事業費	<p>【事業の目的】 多世代交流施設「まなびあむ」において、住民相互の交流、公民館活動事業の活性化、良好な地域社会の維持及び形成に資する継続的な生涯学習を行い、魅力的で活力ある地域社会の実現を図る。</p> <p>【事業の内容】 各年齢等の対象別に、体験講座や料理教室、運動教室や知識・学習講座など、地元ニーズに対応した参加しやすい事業を実施。</p>	3,604	800	<p>・高齢者向け各種講座を265回実施（スマホ教室・体操教室等） ・青少年向け各種講座を3回実施（料理教室・体験教室等） ・現役世代向け各種講座を42回実施（教養講座・健康講座等） ・多世代交流事業を3回実施（まちあるき・父子キャンプ等） ・子育て教室を14回実施（料理教室・運動教室等）</p>	<p>各種講座・教室の参加者は延べ6,805人となり、事業の中で興味関心を通じた交流が生まれ、ゆるやかにつながることはもちろん、事業後も継続したつながりが生まれており、活力ある地域づくりの土台となる人づくり事業が展開できた。</p>
33	地域づくり連携推進事業	その他	赤れんがハーフマラソン開催経費	<p>【事業の目的】 スポーツの普及振興や地域コミュニティの活性化、まちの魅力発信、交流人口の拡大等を図る</p> <p>【事業の内容】 市制施行80周年記念事業としてゲストランナーを招待し、多くの市民や関係団体等の参画、連携により「舞鶴赤れんがハーフマラソン」を開催する。</p>	9,881	900	<p>・申込者数：3,003人 ハーフマラソンの部：2,597人 2kmの部：406人</p>	<p>全国的にマラソン大会の参加者を確保することが難しい昨今、申込締切日前に定員数の3,000人から申し込みをいただき、市外から約2,400人のランナーを迎えることで、スポーツの普及振興や地域コミュニティの活性化、まちの魅力発信、交流人口の拡大に資することができた。</p>
34	地域づくり連携推進事業	その他	自治会等施設整備事業費補助金	<p>【事業の目的】 人口減少や少子高齢化などの社会環境の変化により、様々な課題を抱えている自治会に対し、施設整備への補助を行うことで、安心安全の確保等の地域課題の解決と自治会の負担軽減を図る。</p> <p>【事業の内容】 自治会が所管する施設（防犯カメラ、放送設備）の整備等に対して補助。</p>	717	300	<p>・防犯カメラの整備に対する補助 4自治会 ・放送設備の整備に対する補助 3自治会</p>	<p>自治会からの要望が多く、これからの自治会支援に必要と考えられる防犯カメラ、放送設備の整備に対して補助を行うことにより、地域内の情報共有や災害時の連絡等、地域の安心安全の確保を図ることができた。</p>
35	地域づくり連携推進事業	その他	西駅交流センター施設整備事業費	<p>【事業の目的】 西駅交流センター2階待合室について、通学・通勤利用者をはじめ、施設利用者がより快適に過ごせるスペースにするとともに、本市を訪れる観光客等に対しても、まちの玄関口としてふさわしいものとするために備品の整備を行う。</p> <p>【事業の内容】 机、椅子の整備</p>	660	300	<p>・西駅交流センター2階待合室への備品整備 机3台、椅子8脚</p>	<p>西駅交流センター2階待合室の施設整備（壁紙の張替え、照明のLED化、Wi-Fiの整備）と合わせて、机や椅子を整備することで、通学・通勤利用者をはじめとする施設利用者や観光客が電車待ちの時間を利用して、休憩や自学、交流するための場所として利用することができる、まちの玄関口としてふさわしい、快適に過ごせる場所となった。</p>
36	地域づくり連携推進事業	その他	新・舞鶴市史編さん事業費	<p>【事業の目的】 市制施行80周年（令和5年）記念事業の一環として市史編さんに取り組むものであり、改めて本市の古代から現代までの発展過程を理解し、歴史的資料を適正に整理・保存するとともに、本市が歩んできた歴史を後世的に正確に継承し、未来に希望が持てる活力あるまちの展望に繋げる。</p> <p>【事業の内容】 昭和60年代から令和初期までの本市の歩み及び現行市史の記述内容の加筆・修正や分類見直し等を行い、9種の市史を刊行する。編さん期間は、令和5年度から14年度までの10年間。また、市制施行80周年（令和5年）を記念し、昭和18年以降の本市の歩みをダイジェストにした市制施行80周年記念誌を作成する。</p>	820	400	<p>・市史編さんの具体化に向け、有識者6名で構成する市史編さん委員会を設置（令和5年11月）し、パブリックコメント手続きを経て、「新修・舞鶴市史」編さん実施計画を策定（令和6年3月） ・舞鶴市制施行80周年記念誌を作成（A4判カラー刷94頁・700部、事業費677千円）</p>	<p>中長期的な取組である市史編さん事業において、令和5年度のアウトプットとして、市史編さん実施計画及び市制施行80周年記念誌の作成を計画通り実施することができた。 これらをもふまえ、令和6年度における、5つの専門部会の設置及び同部会における史料等調査や市史の執筆への取組に円滑につなげることができた。</p>
37	地域づくり連携推進事業	その他	間伐材利用促進事業費補助金	<p>【事業の目的】 舞鶴市内で伐採した間伐材を搬出利用した者に対し補助を行うことにより、間伐の実施を促進し、豪雨災害時等の流木被害の防止を図る。</p> <p>【事業の内容】 実施主体：市内林業木材業者等 補助対象：舞鶴市内で伐採した間伐材の搬出利用 補助率：A材（製材）・B材（集成材・合板事業材）1㎡当たり2,000円</p>	2,676	1,300	<p>間伐材搬出材積：1,338㎡</p>	<p>昨年の搬出材積1,239㎡と比較し約8%増加でき、災害防止も含めた間伐の促進に寄与できたものとする。 一方、目標とする3,800㎡（目標年2027年）にはまだ至らず、継続的な支援が必要。</p>
38	地域づくり連携推進事業	その他	市政施行80周年記念ふるさとまつり事業費補助金	<p>【事業の目的】 市制施行80周年を記念するとともに、地域が主体となり、本市の魅力発信や観光振興、地域文化の伝承等、住民参加による協働のまちづくりの推進に資すると認められるふるさとまつりに対して支援を行い、まちの賑わいを創出する。</p> <p>【事業の内容】 市制施行80周年を記念し、またコロナ禍により継続が危ぶまれているふるさとまつりを次世代に継続するため、補助金額の上限を増額し、地域活性化及び感染対策等の取組への支援をおこなう。</p>	9,646	4,800	<p>・7事業に対し補助金を交付（9,646千円）。うち主なものとして「みなと舞鶴ちゃった花火大会」（約4,000発の花火を打ち上げる花火大会：入込数3万人）、「田辺城まつり」（田辺籠城を題材とした講談や鑑武者行列の巡行等：入込数1.4万人）、「まいづる魚まつり」（市民参加セリ市や即売会など：入込数8,000人）等。</p>	<p>「舞鶴ゆかり」の地域資源や魅力ある歴史・文化・自然等の観光素材を活用し、地域が主体となって魅力発信や観光振興、地域文化の継承等住民参加による協働のまちづくりの推進が図られた。特にR5年度は市制施行80周年の記念とコロナからの復活を目的に、補助額を増額したことで、コロナからの復活・事業継続を支援することができた。</p>
39	地域づくり連携推進事業	その他	府道小倉西舞鶴線等改良事業促進費	<p>【事業の目的】 まちの骨格となる道路整備について、拠点施設（舞鶴国際埠頭や赤れんがパーク等）とのアクセス向上による地域経済の活性化等の整備効果を早期に発現出来るよう、府道小倉西舞鶴線等の次期整備路線の検討を行い、道路ネットワークの構築に向けて、事業の促進を図る。</p> <p>【事業の内容】 新規事業化に向けて、現状と課題の把握を目的とした交通量調査を実施。</p>	2,156	1,000	<p>市内13カ所で交通量調査を実施。 ・交差点部 N=7箇所 ・単路部 N=6箇所 ※調査は、AM7:00～PM7:00までの12時間で実施</p>	<p>道路計画を進めるために必要となる現況の交通量、及び渋滞発生や交通分散などの課題を把握することが出来た。</p>
40	地域づくり連携推進事業	その他	電子図書館運営経費	<p>【事業の目的】 新しい生活様式を踏まえた「ビヨンド・コロナ社会」において、感染予防のための行動様式が求められる中、図書館に行きたくても行けない人に対しても情報や資料を提供することができる「非来館型サービス」を実施する。</p> <p>【事業の内容】 図書館に行きたくてもいけない人に対しても情報や資料を提供することができ、非来館型サービスである電子図書館を令和4年度に導入。これにより、図書館利用層の拡大に繋がるだけでなく、郷土資料や広報誌等行政資料の効率的な情報発信、さらに、音声読み上げ機能の活用による視覚障害者サービスの向上を図っていく。特に、図書館利用層の拡大については、来館での利用が少ない小・中学生に重点を置いた選書を行い、学校と連携し、タブレットを活用した学習支援、読書支援を行う。</p>	994	400	<p>令和5年度実績 コンテンツ数 13,938タイトル 登録者数 6,860人 （うち学校連携5,877人） 貸出点数 56,139点 予約点数 633点</p>	<p>成果指標「視覚障害者などの読書支援、タブレットを使用した学習が進む学校現場での活用などにより、図書館機能の高度化を図っていく」 令和5年5月に市内全小中学校の児童生徒及び教職員へアカウントを配布し、学校へ対し利用説明会などを実施した。貸出点数のうち90%は学校連携のアカウントの利用で、指標としていた学校現場での活用をすすめることができた。 視覚障害者などへの読書支援については、障害をお持ちの方が集まる機会をとらえて説明を行っており、これを継続したいと考えている。</p>

41	市町村間連携推進事業	介護人材確保支援事業費	<p>【事業の目的】 府北部7市町、府及び関係団体が連携・協力して、府北部地域における福祉人材の養成・確保及び現任職員の資質向上等の事業に取り組むことを定めた枠組みである「北部福祉人材養成システム」のもと、府事業「北部福祉人材養成システム推進事業」と相互協力しつつ、福祉・介護施設に勤務する方の介護資格取得を支援する。</p> <p>【事業の内容】 ・介護人材確保支援事業費補助金【補助金 3,925千円】 舞鶴市内で介護等の業務に従事している者(初任者研修の場合は舞鶴市内に住所を有する者も対象)の介護資格取得を支援。受講費補助を通じて、介護人材の育成と定着を図る。 ア 介護職員実務者研修受講者 補助率2/3 イ 介護福祉士国家試験対策講座受講者 補助率2/3 ウ 介護職員初任者研修受講者 補助率2/3 ※ア～ウ共通 上限80千円</p>	582	200	<p>介護福祉士資格取得講習等受講料助成金 高齢者施設9件、367,000円 (障害者施設1件、57,000円) 介護職員初任者研修受講料助成金 5件 215,000円</p>	<p>成果指標「介護資格取得研修等受講費補助件数の増」に対し、研修受講等の助成金を通じて、介護人材の育成と定着を図ることができた。</p>
42	市町村間連携推進事業	中丹地域有害鳥獣処理施設管理運営費負担金	<p>【事業の目的】 農作物被害を軽減させるために捕獲された有害鳥獣を適正に処分するために中丹3市(福知山市、綾部市、舞鶴市)と京都府で協力して整備した「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行うことにより、駆除隊員の埋設労力負担を軽減し、計画的な捕獲を推進する。</p> <p>【事業の内容】 中丹3市において、「中丹地域有害鳥獣処理施設」の適正な管理運営を行う。</p>	16,829	8,309	<p>中丹地域有害鳥獣処理施設への搬入頭数 ・シカ及びクマ：1,581頭 ・イノシシ：545頭 ・その他小動物：134頭</p>	<p>駆除隊員の埋設労力負担を軽減することができ、前年を上回る捕獲実績を維持することができた。それにより、有害鳥獣による農作物被害の低減を実現できた。 農作物被害金額：対前年度比18.3%減</p>
43	市町村間連携推進事業	広域観光連携負担金	<p>【事業の目的】 「北近畿広域観光連盟」や「日本海縦断プロジェクト」等の広域観光団体と連携することで、観光行政の各事業を円滑に推進し、広域的に観光振興を推進する。</p> <p>【事業の内容】 広域観光団体の構成団体として負担金を分担。</p>	2,365	1,100	<p>「日本海縦断観光ルート・プロジェクト推進協議会」・「北近畿広域観光連盟」・「京都府観光連盟」・「日本観光振興協会」・「2025年日本国際博覧会」とともに、地域の未来社会を創造する首長連合」等5団体に負担金を拠出。</p>	<p>各広域観光団体および構成自治体等と連携して、イベント開催や旅行商談会・観光物産PR出展等、スケールメリットを活かし、単独ではできない観光プロモーションを展開することができた。</p>
44	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	D X 推進事業費	<p>【事業の目的】 職員数の減少、業務の多様化による職員の業務負担を軽減するため、日々の文書作成作業の効率化を図る。</p> <p>【事業の内容】 テキスト生成AIサービスの導入に向けた検証を実施。公文書の作成、議事録作成、規則・通知文、企画書案、各種レポートなどの文書作成において、テキスト生成AIサービスを活用する。</p>	682	300	<p>テキスト生成AIサービスの業務利用の検証 (令和5年10月～令和6年3月) ・利用者数 一月平均91人(実人数) ・利用文字数 一月平均412,482字</p>	<p>時間と労力のかかる文書作成作業を効率的かつ高速化し、誤字や表現の乱れを最小限に抑えることができた。文書作成作業を省力化することで、職員がより重要な業務に集中し、全体の業務の生産性向上につながった。</p>
45	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	公金収納データ作成業務	<p>【事業の目的】 本市及び金融機関等の窓口で収納された税金等の収入済通知書について、手作業で行っていた消込作業事務負担の軽減を図り、公金収納事務の効率化につなげるもの。</p> <p>【事業の内容】 舞鶴市の市税等の収入済通知書(OCR帳票等)の消込用データについて、本市の指定金融機関である京都銀行で作成されたデータを専用パソコンで受け取り、各収納基幹システムで収納データの消し込みを行うもの。</p>	1,315	600	<p>・公金収納データ作成サービス 消込用データ作成実績 上半期：65,682件 下半期：44,600件</p>	<p>民間金融機関と連携することで、これまでOCR読取機器を使用し、手作業で行っていた業務の省力化を図ることができた。また、OCR機器が不要となり、機器の維持管理費用が削減された。</p>
46	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	公会計活用事業	<p>【事業の目的】 本市において、職員が作成していた地方公会計制度に基づく財務書類を外部委託することにより、作業の効率化を図り、早期の決算状況の公表につなげるもの。</p> <p>【事業の内容】 地方公会計制度に基づき、令和4年度決算の財務書類等の作成する。また、委託業者の協力のもと、本市と他市の財務状況と比較し、各種財政指標による財務状況分析を行うもの。</p>	1,804	400	<p>統一的な基準による令和4年度全体会計決算の財務書類及び固定資産台帳等を作成(財務4表、注記、附属明細等)</p>	<p>財務書類の作成及び分析を専門業者に委託することで、職員の業務削減や作業効率化を図ることができた。また、固定資産台帳の更新により、本市施設の適正な管理運営につながった。</p>
47	行政サービス改革推進・小規模市町村支援事業	道路施設修繕事業費(公共施設省エネルギー化事業/街灯LED化)	<p>【事業の目的】 舞鶴市が管理する蛍光灯などの道路照明灯をLED化することで、消費電力の削減による省エネルギー化を推進するとともに、電気料金の削減や点灯可能時間の長時間化による道路照明灯の修繕回数の減少による維持管理コストの縮減を図る。</p> <p>【事業の内容】 舞鶴市が管理する道路照明灯を、蛍光灯などからLEDへ更新する。</p>	4,115	2,000	<p>R5年度 LED化灯数 90灯 ・灯具取替 66灯 ・管球取替 24灯</p>	<p>【年間電気料金】 13,829千円(R4年度) 9,733千円(R5年度) 道路照明灯のLED化により、消費電力の削減による省エネルギー化を推進するとともに、電気料金を削減し、維持管理コストを削減することができた。</p>